

Go Easy! 教室活動案のご紹介

『Go Easy!』をクラスでお使いいただく際の活動案をご紹介します。ぜひともご参考になさっていただき、楽しい語彙学習の授業展開にお役立ていただければ幸いです。

Ⅰ. 基本の学習

① 意味推測

会話に入る前に、それぞれの項目を発音したりさせたり、あるいはボードに書いたりして、意味を推測させる。グループで話し合わせてもよい。正誤は関係なく、会話の音声を聞かせてわかったかどうかを問う。できなかった、わからなかった場合には正答を言い、確認する。

② 短文作り

教師は本文中の項目から１つを選択してそれを言い、クラスで短文もしくは短いやり取り（２ターン）を作ってもらう。もっとも自然なもので、かつ意味が通るものを１位にする。少し難しくするのであれば「おもしろい文」「話し手が怒っている文」などの制限を加える。

③ 状況描写

教師はある状況を言い、学習者はその状況に合う項目だけを言う。

例

教師: 昨日の面接を忘れちゃったことを、先生に言わなくちゃ。でも、行きたくないなあ。

いやだなあ。

学習者: 足が重い!

④ Yes-No

ある項目を教師が言い、その意味や用法について「はい」「いいえ」で学習者に答えさせる。それぞれの項目の含意がわかっているかどうかを調べるシンプルな方法。

例

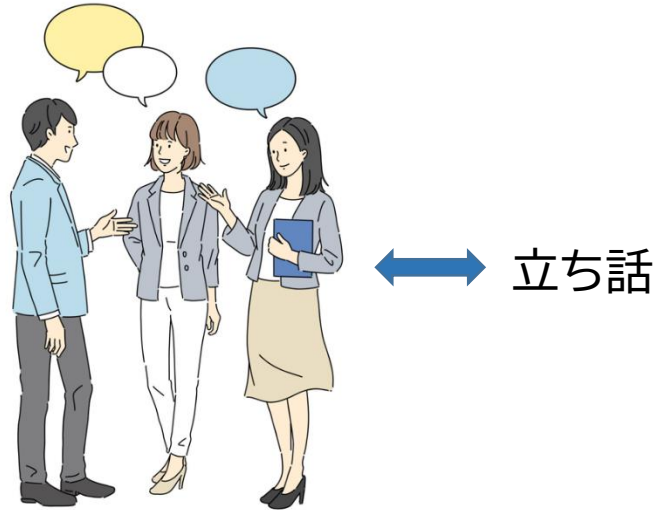
教師: 聞いてください。「ことばもない」。今、いい状態ですか、悪い状態ですか。

学習者: 悪い状態です。

※この後「例えばどんな状態ですか」と聞くと、進んだ活動に転じる。

⑤ 1コマ漫画

教師は項目のうち1つを言い、学習者はその意味をうまく表しているような状況を簡単な線画で描く。互いに見せ合って最も適切なもの（意味が伝わる、絵が面白い）ものを1位とする。絵が得意な学習者に有利にならないように、巧拙よりも意味をつかんでいるかどうかを基準にする。この活動は、絵を見せて状況に合致する項目を言ってもらおうという逆パターンもある。



⑥ スキット

本文の会話をアクション付きで演じる。それぞれの項目（イチゴリッチ、Go Easy）がちゃんと言えるかどうか、ほかの部分も間違えずに言えるか、日本人の話し言葉らしいアクセントやイントネーション、音調、不自然でないしぐさなどから判断する。「話してみよう」でも同様のことができる。

2. 進んだ学習

① コロケーションマッチング

Go Easy の項目から、身体部位（例：目、手、耳 など）と助詞＋動詞（例：～が早い、～を開く など）を１つずつ書いた紙を 10 枚ずつくらい用意する。「身体部位グループ」「述語グループ」にわけて、裏返しにして机に並べる。学習者は一人ずつ各グループから 1 枚を引き、教師はそれが意味を持たない場合（例：目が早い）はもう一度引かせ、意味がある場合には（例：目が高い）その意味を言ってもらう。言えない場合はクラス全員に投げかけ、復習の場合も未習の場合も意味を考えさせる。

② 次の一言

会話を読ませ、最後の文に「1. 話し手が付け加えるとしたら何を言うか」もしくは「2. 聞き手がそれに答えるなら何て言うか」を考えさせる。もっとも自然なもの、ほかの項目を上手に入れたものを 1 位とする。

③ 主節の作成

本書の項目を含む前半の節を教師が言い、学習者は個人、ペア、もしくはグループで後半の主節を言ってもらう。項目の意味をつかんでおり、自然な文が作れたものを勝ちとする。

例

教師：では後半を作ってください。「クラスに来たリーさんの顔が真っ青だったので」

学習者 A：どうしたの、と聞きました。（よい例）

学習者 B：おめでとう、と言いました。（意味をつかんでいない例）

学習者 C：困りました。（まだ完全な理解ではない）

④ スキット作成

本書から好きな項目を 1 つか 2 つ選び、場面や人物などを自由に設定してスキットを作り、教師のチェックを受ける。チェック後にそれを覚え、クラスで披露する。評価基準は「基本の学習⑥ スキット」と同じだが、ユーモアの要素やスキットとしての楽しさも点数に入れる。

⑤ すごろくで Go

大きめの画用紙または厚紙に「ふりだし」「あがり」とその道程のマス（30 くらい）をかいたすごろくを作り、マス内には「安物」「居座る」「涼しい顔」などの項目を書き込む。さいころを振ってそのマスにとまった学習者は、その項目の意味を言うか、それを使った適切な短文を作ったりする。できない場合は指示に従って3マス戻る、などする（戻ったところの指示は受けない）。先にゴールに着いた学習者が勝ち。

⑥ 写真で語ろう

教師はボードに4～5くらいの項目を書き、その意味に当てはまるような状況を示した写真や絵を示す。学習者はグループになり、その状況と選んだ項目の関連を説明する。

足を止める

見かける

見どころ

見出し

